

point

point

2008年2月期(第58期) 経営報告

2009年2月期(第59期) 経営方針

代表取締役社長 石井 稔晃

2008年4月4日

2008年2月期(第58期)決算のポイント

2

9期連続の增收・増益を達成

単位:百万円	2007/2期		2008/2期		
		構成比		構成比	前期比
売上高	61,650	100.0%	73,941	100.0%	119.9%
売上総利益	37,167	60.3%	44,696	60.4%	120.3%
販管費	24,880	40.4%	31,736	42.9%	127.6%
経常利益	12,324	20.0%	13,030	17.6%	105.7%
当期利益	6,877	11.2%	7,488	10.1%	108.9%

売上高前期比19.9%増

▶ 国内既存店前年比97.8%

▶ 大型2ブランドに続くブランドが急成長

売上総利益率は高水準を維持

▶ 前期比+0.1%

販管費率は42.9%と想定通り

▶ 広告宣伝、人材強化、Eコマース等

将来への着実な投資

▶ 初期成長期ブランドの売上が増加

当期純利益前期比8.9%増

▶ 年間20円増配

point

新たなチャレンジで成果

Eコマース事業が順調にスタート

- ▶ 07年10月 6ブランド、08年2月 3ブランド

香港出店準備完了

- ▶ 08年3月 3店舗(LF2、JS1)出店

GWで大型店舗出店

- ▶ ららぽーと船橋、235坪

新アウトレット業態の導入に成功

- ▶ ブランド名でのアウトレット店舗3店舗出店

•
point

ビジネスモデルの更なる進化を目指す

NSC向け新ブランドの開発

- ▶ ブランド名「インメルカート(IM)」

成長ブランドの戦略的出店と規模拡大に伴う利益貢献

- ▶ JS、HE、AP、LPを中心に出店

商品開発・生産・調達の深耕を志向

- ▶ クイックレスポンス対応を更に追及し、生産体制への深い取組み、仕組み作りに着手

TOP9の総仕上げとして、人材力・組織力を一層強化

- ▶ 組織再編、エリアマネジャー育成、教育研修の更なる強化

point

ブランドコンセプト 「日常生活の中で必要とされるブランド」

in mercant o

日常生活の中でも気軽に楽しむ事が出来る普段着を提案



時流のスパイスをまぜながら、手に取りやすく、安心できる価格での商品を提案

店舗は、熱気や活力を感じ賑わいのある市場の雰囲気を表現

マーケット 主な出店ロケーションはNSC

既存ブランドとは異なるマーケットに向け、新しい切り口での多店舗展開の可能性を試行

オープン

防府(4月予定)、伊勢崎(6月予定)、山梨中央(6月予定)

point

ローリーズファーム、ジーナシスを展開

- ・合弁で現地法人設立
(当社75%、現地企業25%)
- ・当期出店計画5店舗
(内3月3店舗出店済み)
- ・当期計画(初年度)
売上計画2.5億円、投資計画2億円



ジーナシス コーズウェイベイ店

新規グローバルブランド開発に着手

- ・香港発でグローバルに通用するブランドを開発

•
point

•

point

2008年2月期(第58期) 営業報告
取締役常務執行役員 櫻井 健一

2008年4月4日

売上高 **739** 億円 前期比 **119.9%**

新規店舗出店

純増95店舗(内EC9店舗、台湾1店舗)

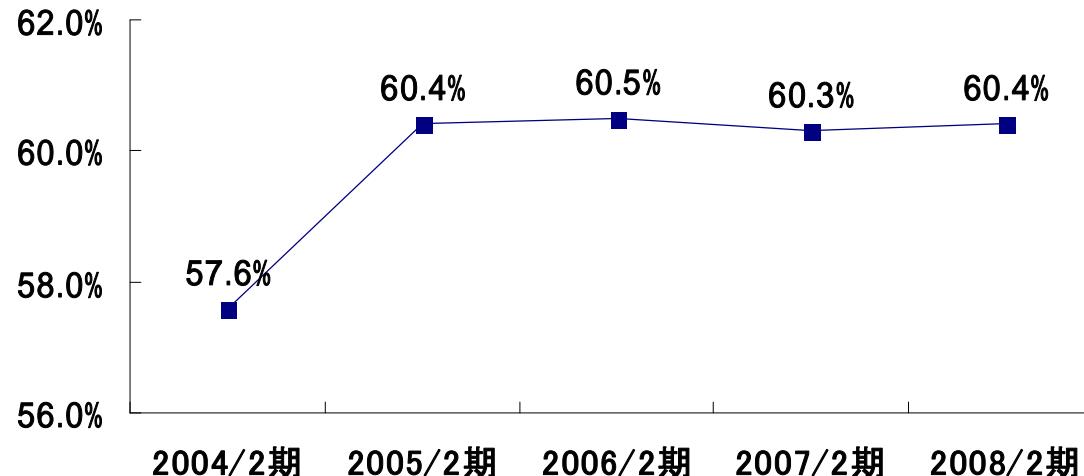
既存店の継続的な改装

改装52店舗(計画50店舗)

(国内、対前期比%)	2007/2期			2008/2期		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
全店	売上	118.1	131.7	125.5	120.6	119.5
	客数	112.1	126.7	119.6	120.5	119.1
	客単価	105.4	104.0	105.0	100.1	100.3
既存店	売上	104.1	107.1	105.8	95.6	99.5
	客数	99.8	103.9	101.9	96.7	99.9
	客単価	104.4	103.1	103.8	98.9	99.6

point

売上総利益率 **60.4%** 前期比 **+0.1%**



主な変動要因

- ・(+) : アウトレット商品の販売力強化が奏功し、商品廃棄処理をミニマイズ
- ・(-) : 4Qのセール販売の前倒し、梅春プロパー商品の立上がりの遅れ

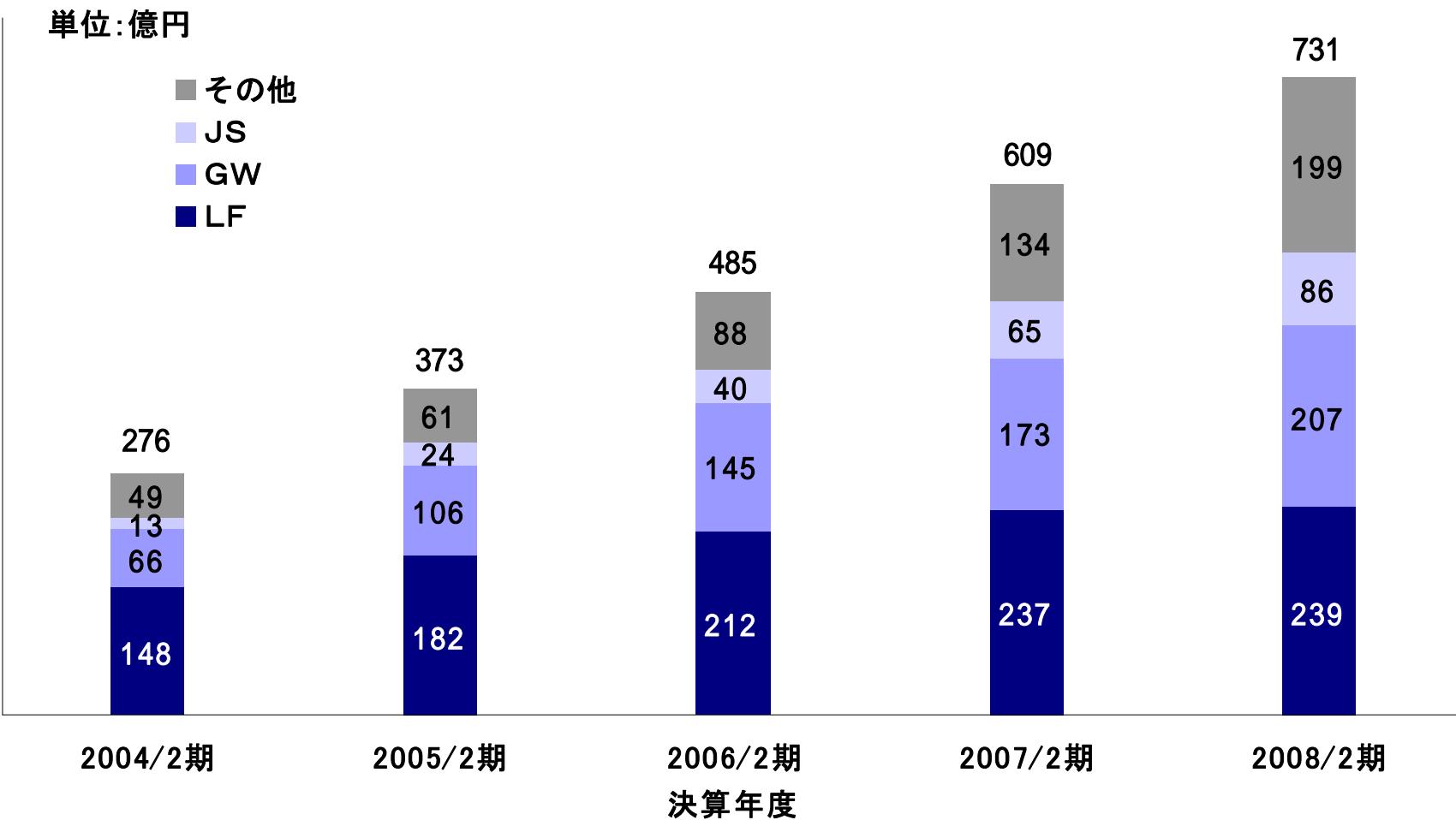
商品回転率10.6回転

- ・07/2末は旧正月の影響で過少在庫。08/2末は適正水準に在庫積み増し

point

ブランド別の売上高の推移(国内)

10



point

ブランド別出店・売上状況(国内)

11

単位:百万円	2007/2期		2008/2期					期末 店数	
	売上高		期首 店数	売上高			前期比		
		構成比			構成比	前期比			
RB	4,912	8.1%	29	5,826	8.0%	118.6%		39	
GW	17,371	28.5%	104	20,684	28.3%	119.1%		130	
LF	23,728	38.9%	104	23,925	32.7%	100.8%		112	
JS	6,504	10.7%	45	8,609	11.8%	132.4%		55	
HE	2,570	4.2%	24	3,708	5.1%	144.3%		33	
HA	2,881	4.7%	20	3,716	5.1%	129.0%		25	
AP	958	1.6%	9	2,046	2.8%	213.6%		14	
UC	456	0.7%	9	1,204	1.6%	264.1%		12	
LP	368	0.6%	6	1,879	2.6%	510.8%		21	
NB・AG	1,203	2.0%	12	1,526	2.0%	126.7%		15	
合計	60,957	100.0%	362	73,121	100.0%	120.0%		456	
内自社EC	—	—	—	582	0.8%	—		9	

point

店舗にはECサイト・自社ECサイトを含んでおります
AGは08年6月で活動を休止しております
NBにはブランドアウトレットを含んでおります

ローリーズファーム



積極的な改装継続(24店舗)
6年連続ベストセラー賞受賞(織研新聞社)
▶ 姉妹ブランドとの協働・協調

グローバルワーク



積極出店(26店舗出店)
▶ 出店継続(16店舗計画)しつつ生産性を改善
大型店舗を基点したブランド力の深耕

ジーナシス



トレンドへの変化対応で成長継続(売上高前期比 32.4%増)
▶ 売上高100億円達成を視野に入れ出店継続

•
point

レイジブルー

RAGE BLUE

知名度向上し成長継続(売上高前期比 18.6%増)

- ▶ ブランドイメージの定着と台湾での知名度向上が課題
郊外での成長確認



ヘザー

Heather

ブランドイメージが定着し急成長(売上高前期比 44.3%増)

- ▶ 郊外立地への出店試行
店舗面積拡大に合わせてブランド力向上



ハレ

HARE

トレンドへの変化対応で成長継続(売上高前期比 29.0%増)

- ▶ インターネット販売を強化継続、新チャネル開拓



point

アパートバイローリーズ

apart by lowrys

市場ニーズを的確に捉え急成長(売上高前期比 113.6%増)

- ▶ LFとの協働・協調
積極出店(8店舗計画)



アンダーカレント



UNDERCURRENT

郊外立地でのメンズ市場ニーズ対応に課題

(売上高前期比 164.1%増)

- ▶ GWとの協働・協調により出店立地に合わせたMDを再構築



レプシムローリーズファーム

LEPSIM
LOWRYS FARM

ブランドイメージが支持され急成長(売上高前期比 410.8%増)

計画通り積極出店(15店舗)

- ▶ 本部体制を強化し、大量出店(30店舗計画)



point

2009年2月期 ブランド別出店・売上計画(国内)

15

単位:百万円	2008/2期			2009/2期			
	売上高		期末 店数	売上高			期末 店数
		構成比			構成比	前期比	
RB	5,826	8.0%	39	6,500	7.6%	111.6%	46
GW	20,684	28.3%	130	23,100	27.2%	111.7%	140
LF	23,925	32.7%	112	24,100	28.4%	100.7%	114
JS	8,609	11.8%	55	9,800	11.5%	113.8%	65
HE	3,708	5.1%	33	4,900	5.8%	132.1%	44
HA	3,716	5.1%	25	4,200	4.9%	113.0%	28
AP	2,046	2.8%	14	3,000	3.5%	146.6%	22
UC	1,204	1.6%	12	1,400	1.6%	116.2%	8
LP	1,879	2.6%	21	5,600	6.6%	297.9%	51
NB・AG	1,526	2.0%	15	2,100	2.5%	137.6%	16
IM	—	—	—	300	0.4%	—	5
合計	73,121	100.0%	456	85,000	100.0%	116.2%	539
内自社EC	582	0.8%	9	2,000	2.4%	343.6%	9

point

店舗にはECサイト・自社ECサイトを含んでおります
AGは08年6月で活動を休止しております
NBにはブランドアウトレットを含んでおります

•

point

2008年2月期(第58期) 決算概要
取締役専務執行役員 遠藤 洋一

2008年4月4日

損益計算書の主要項目

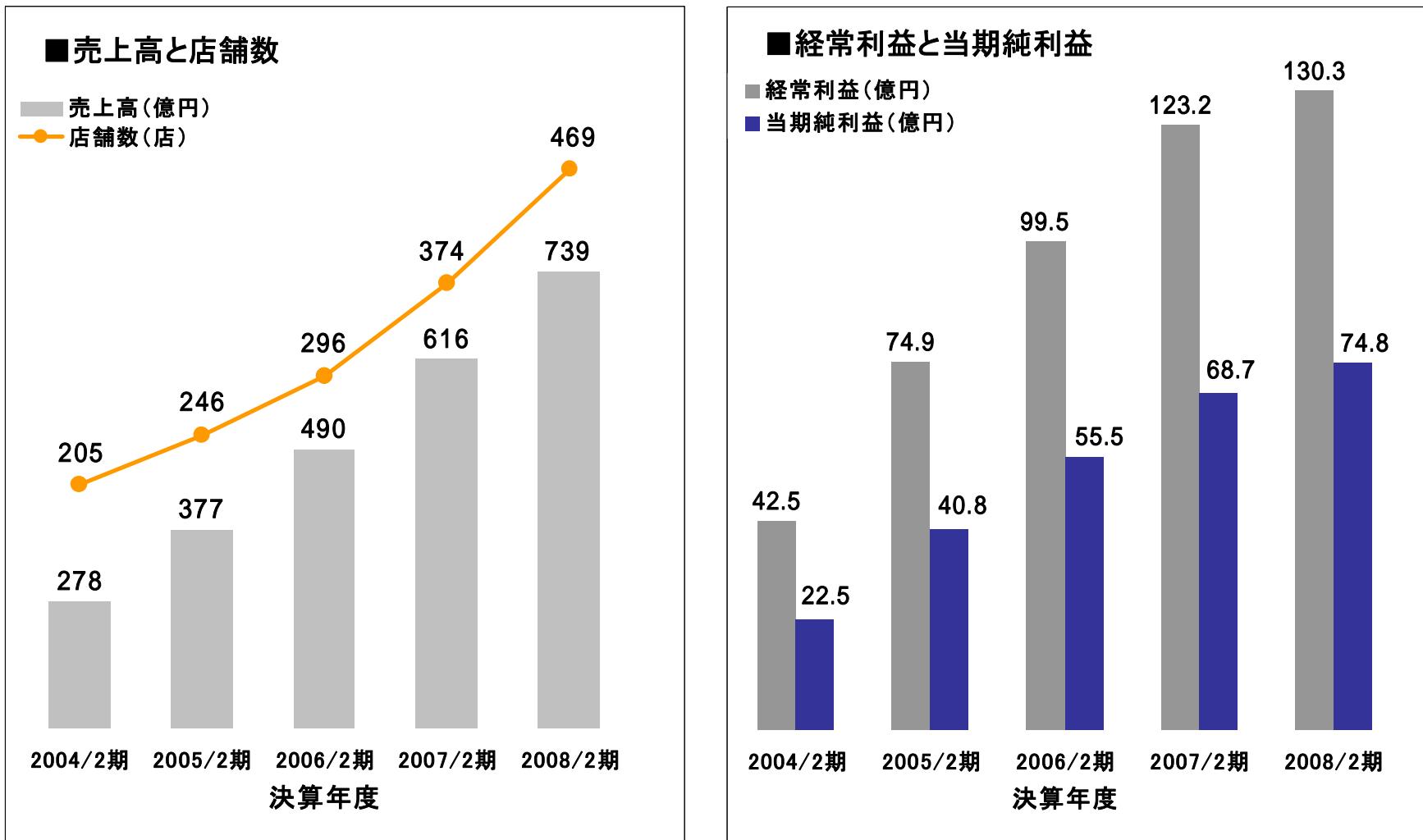
17

単位:百万円	2007/2期		2008/2期			期初 計画比
		構成比		構成比	前期比	
売上高	61,650	100.0%	73,941	100.0%	119.9%	103.1%
売上総利益	37,167	60.3%	44,696	60.4%	120.3%	102.7%
販管費	24,880	40.4%	31,736	42.9%	127.6%	104.4%
経常利益	12,324	20.0%	13,030	17.6%	105.7%	99.5%
特別損失	439	0.7%	487	0.7%	110.9%	—
当期利益	6,877	11.2%	7,488	10.1%	108.9%	104.0%

point

9年連続の増収・増益

18



point

販売管理費比率 **42.9%** 前期比**2.5%上昇**

単位:百万円	2007/2期		2008/2期		
		売上比		売上比	前期比
広告宣伝費	1,235	2.0%	1,559	2.1%	126.2%
人件費	8,150	13.2%	10,464	14.2%	128.4%
地代家賃	9,321	15.1%	11,591	15.7%	124.4%
リース料	1,517	2.5%	2,053	2.8%	135.3%
減価償却費	376	0.6%	563	0.8%	149.7%
その他	4,279	6.9%	5,504	7.4%	128.6%
合計	24,880	40.4%	31,736	42.9%	127.6%

主な変動要因

- ブランド力強化の為、戦略的な投資を継続
- 正社員前倒し採用により期中平均正社員数33.6%増
採用競争上、初任給改定を行い全体のレンジ見直し
- 平均店舗面積30.0%増
- 内装設備の仕様見直し
- 基幹システム大型化・Eコマース関連投資の影響
- Eコマース関連、内部統制対応、カード手数料等
基幹システム大型化に伴い保守コスト増加

•
point

特別損失 **487** 百万円 前期比 **110.9%**

退店 国内5店舗、台湾1店舗

ロケーション検討の結果実施

改装 52店舗

LF24店舗を中心に実施

減損損失18百万円

減損処理対象1店舗

point

貸借対照表の主要項目

21

単位:百万円	2007/2期		2008/2期		
		構成比		構成比	前期末比
総資産	34,377	100.0%	37,712	100.0%	109.7%
流動資産	22,543	65.6%	20,895	55.4%	92.7%
固定資産	11,834	34.4%	16,817	44.6%	142.1%
負債	14,830	43.1%	15,363	40.7%	103.6%
純資産	19,547	56.9%	22,349	59.3%	114.3%

主な変動要因

- ・07/2末は旧正月の影響で過少在庫。08/2末は適正水準に在庫積み増し(+1,479百万円)
- ・有価証券増加(+3,042百万円)
- ・出店に伴う保証金敷金増加(+1,272百万円)
- ・一括支払信託受益権1,088百万円購入

point

株主資本等変動計算書

22

単位:百万円	株主資本					評価・換算差額等	新株予約権	純資産合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	株主資本 合計			
前期末残高	2,660	2,517	18,746	4,437	19,487	34	25	19,547
当期変動額								
剰余金の配当(70円/株)			1,764		1,764	—		1,764
当期純利益			7,488		7,488	—		7,488
自己株式取得(48万株)				2,500	2,500	—		2,500
自己株式処分(4.6万株)			128	259	131	—		131
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					—	572	19	553
当期変動額合計	—	—	5,595	2,240	3,355	572	19	2,801
当期末残高	2,660	2,517	24,342	6,677	22,842	537	44	22,349

point

キャッシュ・フロー計算書

23

単位：百万円

	2007/2期	2008/2期	
			増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,584	7,943	640
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,140	6,411	4,270
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,307	4,686	378
現金及び現金同等物の増減額	2,136	3,159	5,296
現金及び現金同等物の期末残高	17,009	13,849	3,159
フリーキャッシュ・フロー	6,444	1,532	4,912

主な変動要因

- ・営業活動によるCF:在庫増加による影響が 1,185百万円
- ・投資活動によるCF:有価証券取得による影響が 3,995百万円

point

単位:百万円	上期	下期	通期	期初計画
店舗関係	809	989	1,798	2,700
その他	90	162	252	580
計	899	1,151	2,050	3,280

積極的な店舗展開・改装

- ・出店92店舗(含む台湾2店舗、業態変更1店舗、除くEコマース店舗9店舗)
- ・店舗改装52店舗
- ・Eコマース関連投資200百万円

point

単位:百万円	2007/2期		2008/2期		
		構成比		構成比	前期比
売上高	669	100.0%	764	100.0%	114.1%
営業利益	96	14.4%	117	15.4%	122.4%
経常利益	95	14.3%	117	15.4%	122.7%
当期利益	56	8.4%	67	8.9%	119.6%

営業状況

- ・岩間新物流センター(茨城、賃借)を新設し、キャパシティ確保と効率化を実現
- ・自社EC物流に対応開始

point

単位:百万円	2006/12期		2007/12期		
		構成比		構成比	前期比
売上高	693	100.0%	820	100.0%	118.3%
営業利益	76	11.1%	129	15.8%	169.4%
経常利益	77	11.1%	128	15.6%	166.2%
当期利益	52	7.6%	90	11.1%	172.7%
期末店舗数	12	—	13	—	1 店舗増

営業状況

- ・ローリーズファーム2店舗出店、1店舗退店
- ・既存店伸長により、增收・増益。利益率改善
- ・08/12期は、ジーナシスの出店を開始し、成長を継続する計画

point

2009年2月期(第59期)計画

27

単位:百万円	2008/2期		2009/2期計画		
		構成比		構成比	前期比
売上高	73,941	100.0%	86,200	100.0%	116.6%
売上総利益	44,696	60.4%	52,000	60.3%	116.3%
販管費	31,736	42.9%	37,200	43.2%	117.2%
経常利益	13,030	17.6%	14,900	17.3%	114.3%
当期利益	7,488	10.1%	8,300	9.6%	110.8%
店舗数	469	—	561	—	92店増

計画の前提

- ・出店105店舗(国内96、台湾4、香港5)、退店13店舗(GW6、UC4、HE1、NB2)、改裝50店舗を予定
- ・国内既存店売上高前期比97.6%
- ・販管費率は、適切な生産性・稼働の実現と成長ブランド(AP、LP、HE)の利益率改善により、単体ベースでは08/2期の水準を維持

point

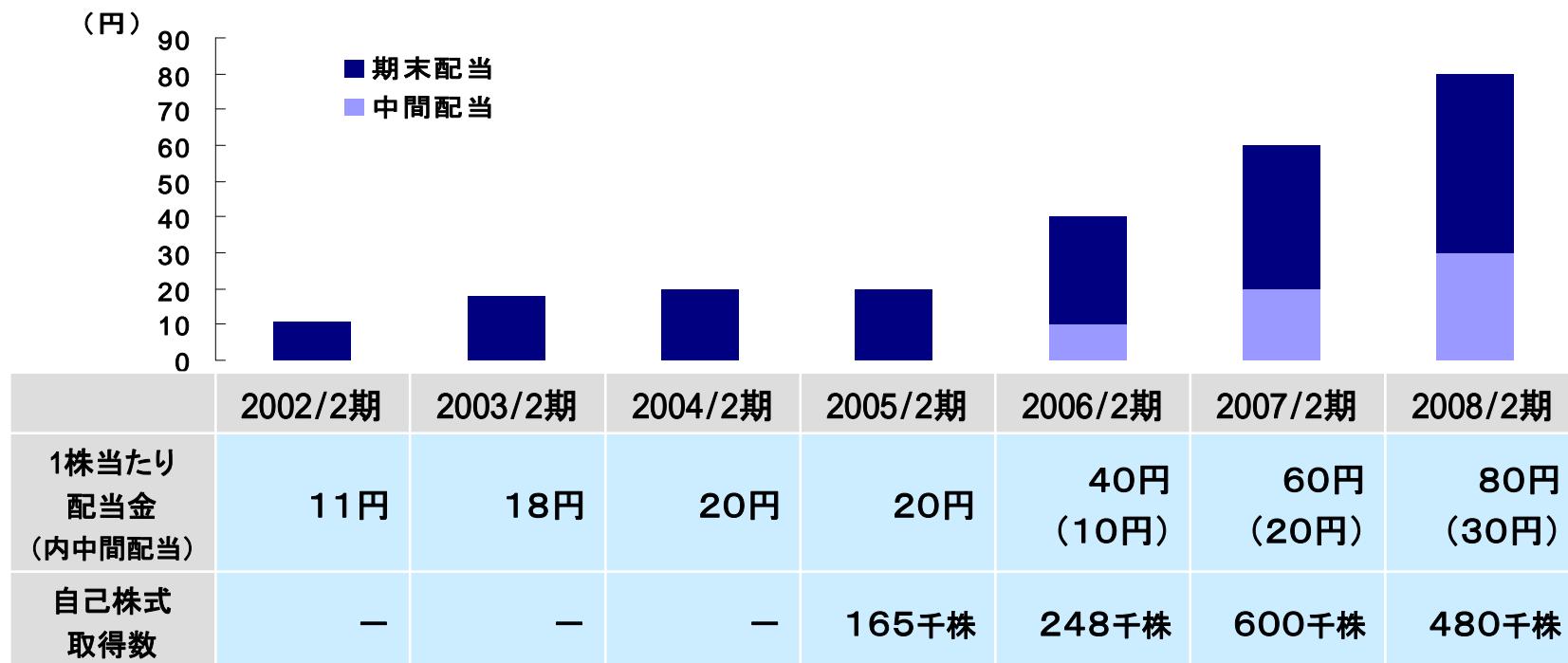
単位:百万円	2008/2期	2009/2期	前期比
店舗関係	1,798	2,850	158.5%
その他	252	320	127.0%
計	2,050	3,170	154.6%

積極的な店舗展開・改裝を継続

- ・その他は主に情報システム関連投資

point

1. 事業への投資を最優先に行い、企業価値の向上を図ります
2. 安定配当を基本とし、収益状況等を踏まえ、増配を検討します
3. 利益還元の一つとして自己株式購入を適切且つ機動的に行ってまいります



point

業績予想の適切な利用に関する説明

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

資料文中のブランドの表示について

各ブランドの略称を下記の通りとしております。

レイジブルー(RB)、グローバルワーク(GW)、ローリーズファーム(LF)、ジーナシス(JS)、ヘザー(HE)、ハレ(HA)、アパートバイローリーズ(AP)、アンダーカレント(UC)、レプシムローリーズファーム(LP)、アグレア(AG)、ナインブロックス(NB)、インメルカート(IM)

•
point

point